

2020年7月7日

部局長の皆様

新型コロナウイルス対策タスクフォース座長
福田 裕穂

厚生労働省接触確認アプリの利用、及びキャンパス内人口密度モニタリングについて

2020年7月2日付け通知「東京大学新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底について」において、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性を皆様がいち早く確認できるよう、厚生労働省接触確認アプリ（以下「COCOA」という。）の利用を依頼しているところです。

今後、キャンパス内に滞在する学生・教職員が増えることが想定されていますので、大学内での密度を様々な方法でモニタリングすることが重要となっていますが、このたび、新型コロナウイルス対策タスクフォース（以下「タスクフォース」という。）では、COCOAを利用したキャンパス内人口密度モニタリングを開始することとしましたので、お知らせいたします。

このモニタリングは現在、大学院情報学環・中尾彰宏教授の作製したセンサーにより、COCOAが行うBluetooth通信を利用して、センサー付近のアプリユーザー数を測定し、特定の場所の人口密度を把握する実証実験として実施されています。既に本郷キャンパスでは中央食堂、第2食堂、学生ホール、総合図書館へセンサーの設置を行っており、駒場Iキャンパスにおいても設置が検討されています。このように既に先行実績があり、早期に導入が可能であることから、タスクフォースでは新たなモニタリング方法として、この成果を活用することとし、そのほかのキャンパスにおいても設置希望があれば支援していくこととしました。

なお、このモニタリングは、COCOAが行うBluetooth通信を利用しているため、匿名性を担保した上で、センサー設置場所における人口密度を推計して地図上に人口密集状態を提示するもので、個人が特定できる情報は一切取得しておらず、蓄積もしていません。また人口密度の推計結果は広く構成員に周知する予定です。

つきましては、学内構成員の方々に、このような背景と目的をご理解いただきますようお願いいたします。

キャンパス内での新型コロナウイルス感染症拡大防止には皆様のご協力が不可欠です。キャンパス内のモニタリングについて、このほかにも適用可能な研究がありましたら、タスクフォースまでご連絡くださるようお願いいたします。

【厚労省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

【実証実験問合せ先】大学院情報学環・中尾彰宏研究室 info@nakao-lab.org

【本件問合せ先】 新型コロナウイルス対策タスクフォース学内安全プロジェクトチーム
本部総務課総務チーム soumusoum.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp